

平成16年度第3回幹事会議事録

開催日時：平成16年11月24日(水) 13:00～16:30

開催場所：学士会分館

出席者：		区分	氏名	出欠	区分	氏名	出欠
二役等	会長		山岸宏光		各支部長	北海道	前田寛之
	副会長		吉松弘行			東北	宮城豊彦
	副会長		丸井英明			新潟	丸井英明
	専務理事		落合博貴			中部	北澤秋司
	前会長		佐々恭二			関西	山本哲朗
	表彰委員長		藤田壽雄		九州	玉田文吾	
	教育問題委員長		岩尾雄四郎		北海道	米田哲朗	
各部部长	総務		広嶋孝也		支部長代行	東北	千葉則行
	編集出版		松浦純生			新潟	古川昭夫
	事業計画		檜垣大助			中部	小野和行
	国際		宮城豊彦			関西	末峰章
	研究調査		山崎孝成			九州	宜保清一
部長代行	総務		伴要		財政委員長	小林佳嗣	
	編集出版		阿部真郎		広報委員長	太田英将	
	事業計画		伊藤俊方				
	国際		大河原彰				
	研究調査		榎田充哉				
						出席者数	15
						欠席者数	2

- 資料：1. 前回幹事会議事録
 2. 平成16年度幹事会名簿
 3. 日本地すべり学会倫理綱領(案)
 4. 事業計画部幹事会資料
 5. 編集出版部資料
 6. 会勢拡大策2
 7. 日本学術会議会員候補者の情報提供
 8. 研究調査部報告
 9. 全国がけ崩れ協議会資料
 10. 森林・木材アカデミー設立資料

議 事

・前回議事録の確認

内容について特に指摘はなかった。

・事業計画部からの報告と提案

平成17年度総会・シンポジウムの開催計画について以下の報告があった。

日時：平成17年5月13日(金)～14日(土)

場所：長野市

総会：(社)日本地すべり学会・同中部支部

シンポジウムテーマ：地すべり災害と緊急対応

スケジュール：13日 学会総会、中部支部総会、シンポジウム、意見交換会

14日 地附山地すべり見学

研究発表会の運営に関する基本的な考え方の提案があった。

地方公務員、学生の参加者が減少しており、大会規模の縮小を考える必要がある。

地方行政の興味を引くようなテーマでの企画を行うことが望ましい。

発表申込1件1名、発表時間15分確保、発表者は会員、ポスターセッション40件以上とする。

実行委員会事務局の主体を支部に置くことを考えていく。

その他、以下の報告があった。

1. 若手ワークショップ

- 助成公募に対する申請は無く、期限を延期して再公募する。
2. 44 回研究発表会（長崎大会）
平成 17 年 8 月 29 日～31 日に長崎県佐世保市にて実施予定である。
実行委員会事務局は学会九州支部に置き、長崎県が後援の形を取ることで考えている。
事務局の件については 11 月 25 日の実行委員会で再確認を行う。
 3. ネパール国際シンポジウム
9 月 25～26 日にシンポジウムを開催、その後計画されている巡検は中止とする。
ICL を共催団体とした。
 4. 43 回研究発表会（秋田大会）
8 月 31 日～9 月 3 日に開催され、無事終了した。

・研究調査部から新潟県中越地震の学会対応についての報告と提案
地震発生後の学会の対応について説明があった。

今後の対応、学会の取り組み方について報告ならびに提案があった。

12 月 5 日～7 日に研究調査部を主体とした山古志村の現地踏査を実施する。

1 月中旬に応用地質学会と合同報告会を実施したいとする意見がある。

学会として研究委員会を立ち上げ長期的視野に立った住民に役立つ調査を実施していく必要がある。

用語として使われている天然ダム、河道閉塞ダムは地すべりダム、Landslide Dam とすべきである。

12 月 7 日に「新潟県中越地震による斜面災害緊急シンポジウム」を開催する。

1 月 15 日の国際シンポジウムで新潟県中越地震をスペシャルセッションで取り上げる。

1 月 18 日～21 日に国連世界防災会議を神戸で開催する。

・教育問題委員会から学会倫理綱領(案)の報告
委員会で作成した原案の説明に対し意見交換があった。

意見はメールにて岩雄委員長に連絡をする。

（幹事・支部事務局名簿の岩尾委員長のメールアドレス間違い。

iwao@cc.saga-u.ac.jp > iwaoy@cc.saga-u.ac.jp）

3 月の幹事会に最終案を提示し、調整後来年度の総会にかける。

第 2 項の地すべりや斜面変動等の災害、4 項の情報の秘匿については委員会で再検討する。

・編集出版部から学会誌の発刊計画、学会出版物発刊についての報告
学会誌の特集について以下のような計画の説明があった。

41-5(1 月)号 切土のり面の安定特集

42-2(7 月)号 地震と地すべり特集

42-4(11 月)号 空間情報技術と地すべり調査解析特集

42-6(3 月)号 2004 年豪雨と地震災害特集

現場技術者のための地すべり解析講座を開設予定である。

学会誌編集委員会の現状説明と今後の出版物発刊についての提案と意見交換があった。

今の編集出版部はまさしく学会誌編集委員会であり、学会誌の対応で手一杯である。

出版事業にあたっては組織的に行う必要があるのではないか。

出版に関する決定機関を設ける必要がある・・・次回の幹事会に案を提出する。

(例：総務部の下に委員会組織)

・総務部より会勢拡大策と学会誌についてのアンケート結果の報告
会勢の拡大策についての説明と意見交換があった。

提示されたアイデアについて実行してみる。

アンケート結果についての説明と提案があった。

回答に対し何らかのアクションを示すことで学会に対する意識が高まる。

・その他報告

日本学術会議会員候補者に関する情報提供の実施について説明があった。

理事会にて判断を仰ぐこととする。

森林・木材アカデミー(仮称)の設立に参加について説明があった。

会員になることを承認する(3 月に理事会で承認を受ける)

設立準備会については落合専務理事に一任する。
平成 16 年度全国地すべりがけ崩れ対策協議会現地討論会(鹿児島)で山岸会長が講評した。
国際部からタイ巡検に対する説明があった。

以上